2014年冬。
ここから始まる運命の出会い…

業界×横国生・首都大生

首都大学東京　3年
荒井真喜子　大久保香織　太田涼介　三井拓也

目次

I.　問題意識
II.　アンケートの概要
III. 内定先業界の傾向
IV. 疑問
V.　仮説の導出
VI. 研究の枠組み
VII. 検証
VIII. 検証結果＆考察
IX. 運命の相手探し
X.　運命の相手ランキング
XI. インプリケーション
XII. 研究の限界
XIII. 参考文献
XIV. 付表

Ⅰ．問題意識

「就職活動は恋愛と同じ」

企業・学生双方の**マッチング**が
うまくいくことが良い就活と言える。

Ⅰ．問題意識

就職活動においてまず学生が考えること

どの業界に行こうかな…

本屋でも業界選びのための
の本をよく見かける！

引用：会社四季報業界地図 ２０１５年版　東洋経済新報社(編)

Ⅰ. 問題意識

企業と学生のマッチングの前に、業界と学生の間にもマッチングがあるのでは…？

そこで今回、横国生、首都大生がマッチングできる業界、いわば運命の相手となる業界を見つけるためのヒントとなる研究をしたい。

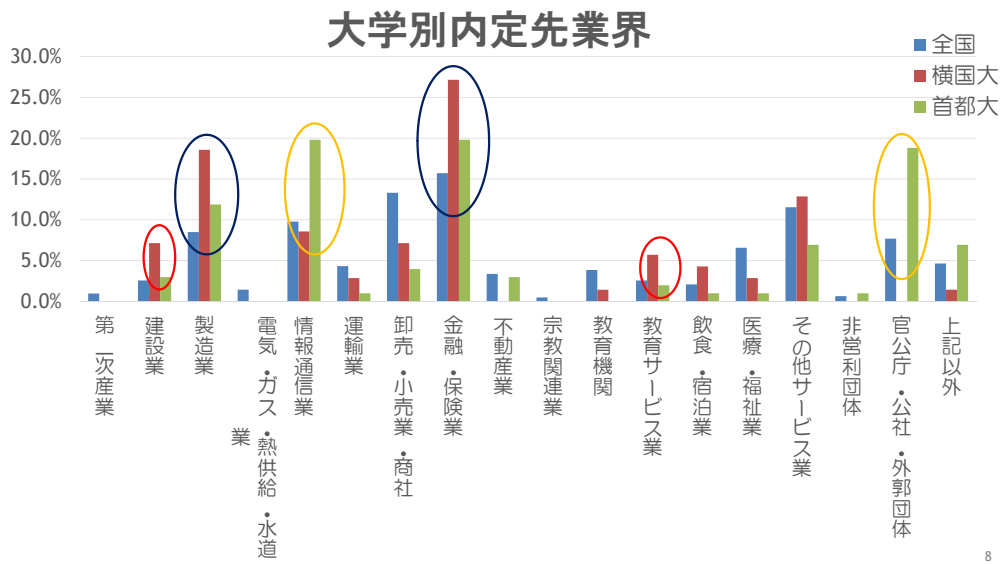
Ⅱ. アンケートの概要

	全国	横国大	首都大
調査方法	インターネット調査	質問紙（手渡し）	質問紙（手渡し）
対象	就職活動を経験した2015年卒業予定の大学４年生、大学院２年生 ＊全国のみ大学院生を除く		
サンプル規模	776人（男:221女:555）	70人（男:46 女:24）	105人（男:55 女:50）
年齢層	21歳～24歳		

Ⅲ. 内定先業界の傾向

内定先の業界を尋ねる質問項目

1. 第一次産業（農業、水産業など）
2. 建設業
3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業
5. 情報通信業
6. 運輸業
7. 卸売・小売業・商社
8. 金融・保険業
9. 不動産業
10. 宗教関連業
11. 教育機関（大学・高校・中学・小学校・幼稚園・保育園など）
12. 教育サービス業（ベネッセ、公文などの企業や塾など）
13. 飲食・宿泊業
14. 医療・福祉業
15. その他サービス業
16. 非営利団体
17. 官公庁・公社・外郭団体
18. 上記以外



大学別内定先業界BEST3

横国大

1．金融・保険業
2．製造業
3．その他サービス業

首都大

1．情報通信業、金融・保険業
2．官公庁・公社・外郭団体
3．製造業

Ⅳ．疑問

大学別に内定先業界の傾向に違いがあった。

業界選びについて、大学ごとに示せることがあるのでは？

Ⅴ．仮説の導出

先行研究

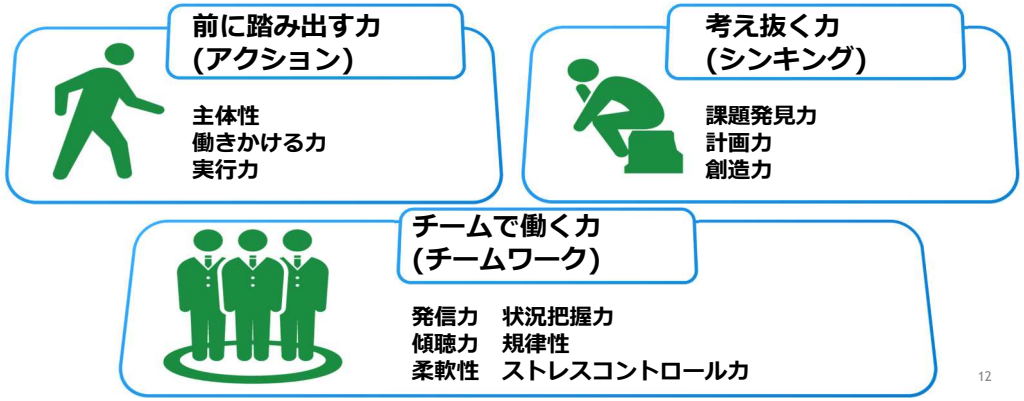
「基礎力」とは、業種や職種を問わずにどのような企業でも求められる能力だが、業種ごとに求められる能力の程度が少しずつ異なっている面もあり、業界ごとに求められる「基礎力」の強弱には若干の違いがあると思われる。

(坂本, 2007)

⇒業界ごとに求める社会人基礎力に違いがあることを示唆

『社会人基礎力』とは

経済産業省が２００６年から提唱する、**「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」**



Ⅴ. 仮説の導出

先行研究から

⇒業界ごとに個人特性の特徴が違う―仮説①

また、大学別で内定先業界に特徴があったことから、
大学別にも個人特性に特徴があるのではないか

⇒大学ごとに個人特性の特徴が違う―仮説②

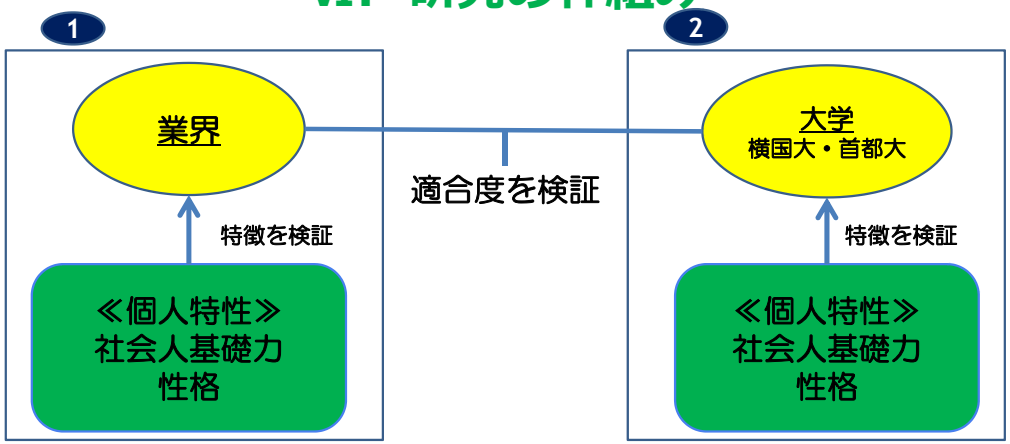
※個人特性として用いるもの・・・社会人基礎力、性格

性格を尋ねる質問項目

Big five
性格を５つの特性で表し、量的比較によって性格を捉える

- 開放性：知的好奇心の強さ、想像力などに関係
- 外向性：活動的、上昇志向などの傾向を表す
- 誠実性：自己統制力、達成への意志の強さ、計画性などに関係
- 協調性：利他的な度合い、嘘偽りない態度、控えめといった事が関係
- 神経症傾向：感情面・情緒面での不安定さやストレスの感じやすさを表す

Ⅵ. 研究の枠組み



※全国平均を基準に検証

仮説①･②の検証方法

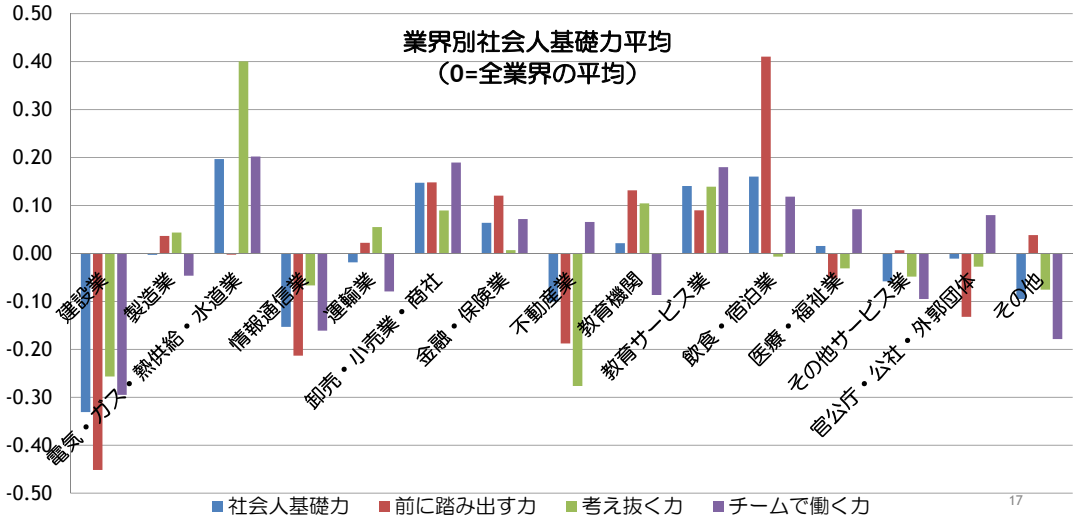
ｔ検定を行い、平均に有意な差があるかをみる

仮説①
各業界の個人特性の平均を項目ごと比べる
（例:建設業の前に踏み出す力と運輸業の前に踏み出す力など）

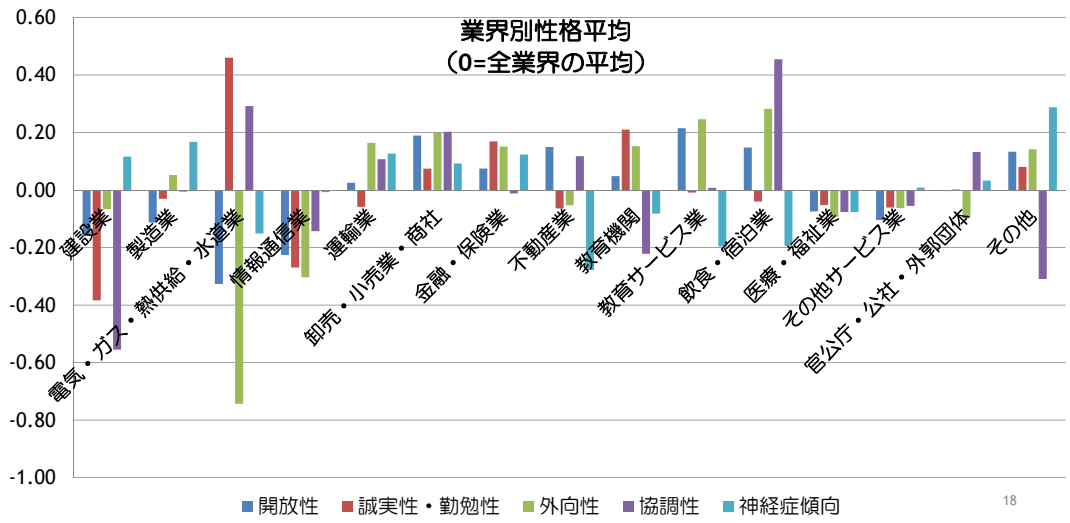
仮説②
全国の個人特性の平均と横国・首都大の個人特性の平均を項目ごと比べる
（例:全国の前に踏み出す力と横国の前に踏み出す力など）

※ｔ検定…二組の標本について平均に有意な差があるかどうかの検定

Ⅶ. 検証①業界と社会人基礎力の関係



Ⅶ. 検証①業界と性格の関係



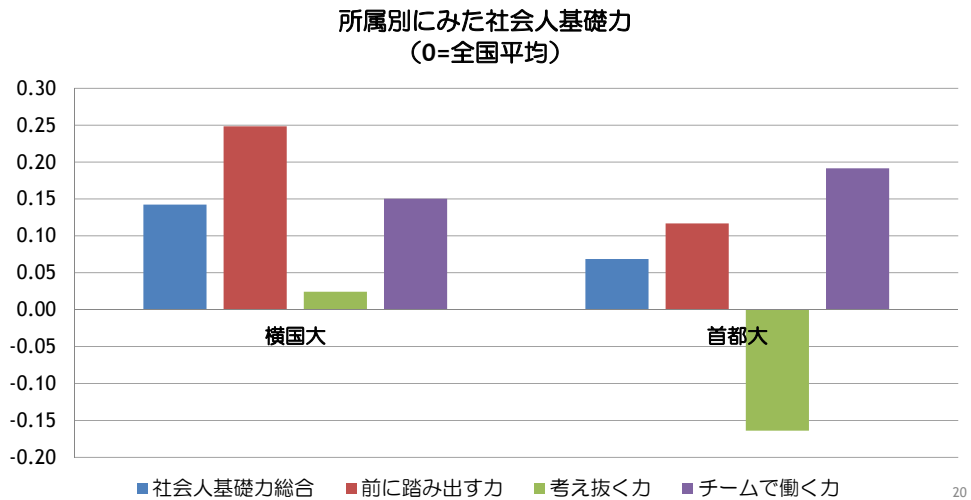
Ⅷ. 検証結果＆考察

仮説①

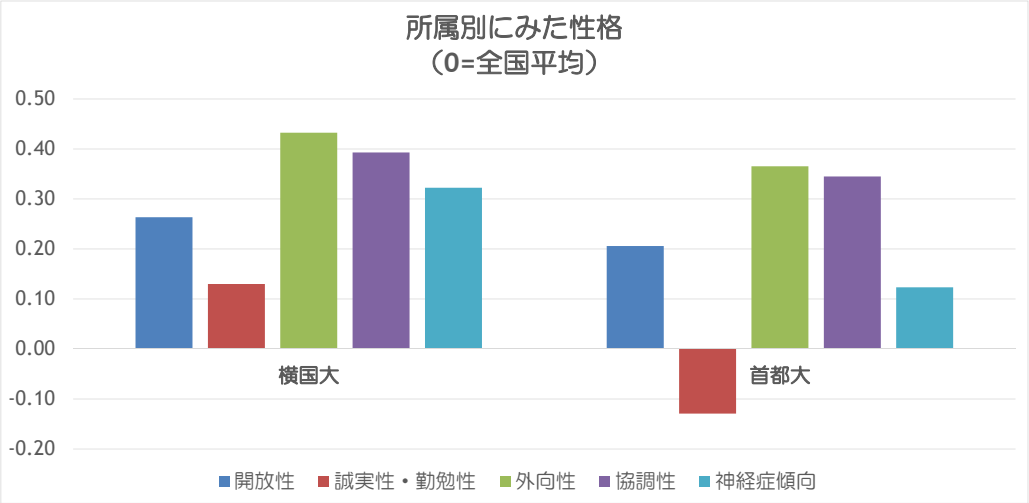
業界ごとに個人特性の特徴が違う　⇒　一部支持

差が有意なものと有意でないものが出たのは、
ある業界とある業界を比べた時に
必要としている度合・理由が異なる部分と
度合・理由が似ている部分があるためであり、
異なる部分は有意となり、似ている部分は有意でないとなった。

Ⅶ. 検証②大学と社会人基礎力の関係



Ⅶ. 検証②大学と性格の関係



Ⅷ. 検証結果＆考察

仮説②

大学ごとに個人特性の特徴が違う　⇒　一部支持

大学別でも差が有意なものと有意でないものが出たのは
仮説①と同じことが言え、
全国と比べて各大学で特徴がある点と特徴がない点があり、
特徴がある点は有意となり、特徴がない点は有意でないとなった。

Ⅸ. 運命の相手探し

業界ごと

大学ごと

個人特性における特徴の違い

横国生、首都大生の

運命の相手

となる業界を見つけるヒントがあるのでは？

P-E fit

就職活動結果として，個人と仕事環境（work environment）とが一致していればいるほど，個人の組織や職務への積極的な態度や行動に結びつくと考えられている。

(竹内, 2012)

※業界も環境の一つであり、業界と個人特性の関係がP-E fitの概念に当てはまると考える

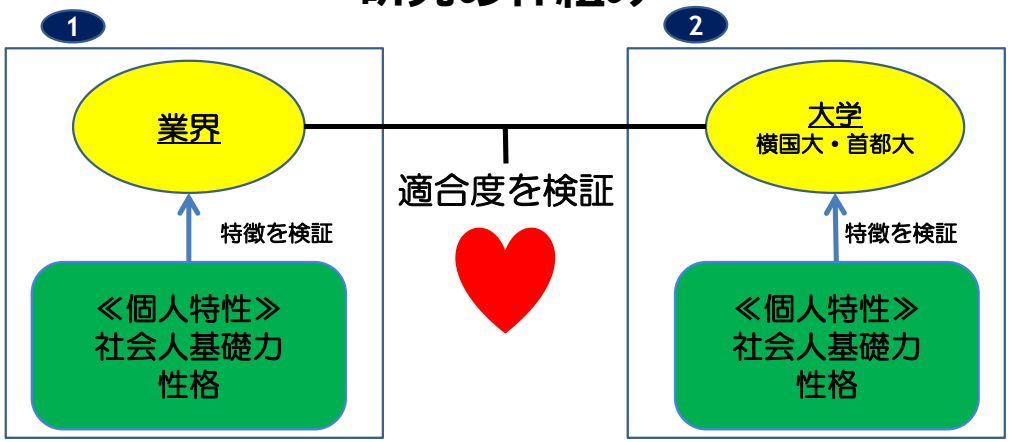
業界と個人特性、双方の特徴が類似していればいるほど、適性があるといえる。

検証方法

- P-E fitより、業界と大学別の個人特性が類似していればいるほど適合

- (大学別個人特性の平均値)ー(業界の個人特性の平均値)＝0に近ければ近いほど適合

研究の枠組み



※全国平均を基準に検証

Ⅸ. 運命の相手探し

社会人基礎力適合度BEST3

横国大	首都大
1．金融・保険業	1．医療・福祉業
2．卸売・小売業・商社	2．教育機関
3．飲食・宿泊業	3．製造業

Ⅸ. 運命の相手探し

性格適合度BEST3

横国大	首都大
1．卸売・小売業・商社	1．卸売・小売業・商社
2．金融・保険業	2．教育サービス業
3．運輸業	3．製造業

Ⅹ. 運命の相手ランキング

横国大	首都大
１．卸売・小売業・商社	１．教育サービス業
２．金融・保険業	２．卸売・小売業・商社
３．教育サービス業	３．製造業

Ⅺ．インプリケーション

≪アカデミックインプリケーション≫

本研究の貢献としては、業界ごとの個人特性の特徴と大学ごとの個人特性の特徴を明らかにしたこと、さらにP-E fitの概念に基づき、各大学に所属している学生に対して適性のある業界を提示したことが挙げられる。

Ⅺ．インプリケーション

≪プラクティカルインプリケーション≫

業界ごとの個人特性の特徴が明らかになったので、自分の行きたい業界のデータをみて、伸ばすべき力を考えるなどのきっかけを学生に与えることができた。

加えて、横国生、首都大生は、今回高い適合度を示した業界について積極的に業界研究を行う、といったようにして今回の結果を活用できる。

Ⅻ．研究の限界

・あくまでも業界レベルの研究であり、個々の企業レベルでの検証ができなかった点

・同じように、大学というグループとしての特徴、適性の研究であり、一人ひとりの個人差を考慮していない点

・アンケートが手渡しだった首都大、横国大はサンプル数が少ないため、偏った結果が出ている可能性がある点

・今回用いた社会人基礎力、性格の質問項目は、主観的な自己評価によるものであるので、数値の高さがそのまま実態を指すものではない点

XⅢ. 参考文献

- 経済産業省(2006)『社会人基礎力』
- 坂本理郎(2007)「日本企業が新規学卒者に求める資質」『大手前大学論集』第8号pp.115-131.
- 竹内倫和(2012)「新規学卒就職者の組織適応プロセス 職務探索行動研究と組織社会化研究の統合の視点から」『学習院大学経済論集』第49巻第3号pp.143-160.
- 「5つの性格診断心理テストプラス」
  http://www.sinritest.com/bigfive01.htmlアクセス日：2014年12月17日

XⅣ. 付表

	変数	度数	平均	標準偏差	Cronbach のアルファ	1	2	3	4	5	6	7	8
1	社会人基礎力	945	3.46	0.65	0.85								
2	前に踏み出す力	947	3.37	0.86	0.69	.824**							
3	考え抜く力	947	3.28	0.79	0.66	.835**	.627**						
4	チームで働く力	947	3.62	0.70	0.74	.864**	.516**	.563**					
5	開放性	948	3.85	1.04	－	.522**	.452**	.389**	.468**				
6	誠実性・勤勉性	948	3.36	1.11	－	.546**	.551**	.483**	.379**	.491**			
7	外向性	948	3.37	1.05	0.78	.550**	.555**	.393**	.446**	.496**	.450**		
8	協調性	948	3.92	0.99	－	.538**	.444**	.336**	.541**	.424**	.344**	.486**	
9	神経症傾向	948	2.69	1.21	－	.279**	.243**	.202**	.252**	.157**	.229**	.277**	.117**

有意確率　**1%水準有意

相関係数についてはN=945